

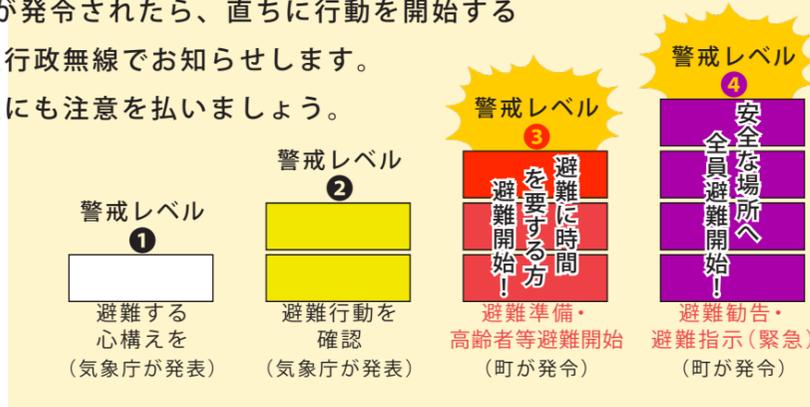
災害に備え、今できること

これからの季節は、大雨による土砂災害や河川の氾濫など、災害が発生しやすい時期です。いざというときに備え、「どこから情報を入手するか」「どのルートで避難するか」など、日頃から自分や大切な家族を守るための準備を心がけましょう！

【問合せ】 住民生活課 消防交通係 電話0241-62-6120

STEP.1 いつ避難するか確認しましょう

- 1 気象情報などに注意し、危険を感じたら自主的に避難する
 - 2 避難勧告（警戒レベル④）が発令されたら、直ちに行動を開始する
- ※町からの避難情報は、防災行政無線でお知らせします。
テレビやラジオからの情報にも注意を払いましょう。



STEP.2 どうやって避難するか確認しましょう

- 1 避難の際には、運動靴など動きやすい安全な服装で避難する
- 2 非常時の持出品や食料、飲料水、マスクなどを、あらかじめ準備しておく
- 3 道路脇の側溝や用水路、マンホールなど、足元に十分注意する

STEP.3 どこに避難するか確認しましょう

- 1 町が公開しているハザードマップなどを参考に危険箇所を確認する
- 2 避難所の位置や避難経路などを確認する

垂直避難	水平避難
家の2階など高いところや、山と反対側の部屋にとどまる避難方法です。夜間に避難すること自体が危険な場合は、家にとどまることも一つの避難行動です。	近くにある避難所など、安全な場所に移動する避難方法です。

STEP.4 できることからコツコツと

- 1 すぐに持ち出せるよう、非常時の持出品を整理しておく
- 2 大切な家族との連絡方法を確認する

非常時の持出品チェックリスト

- 食料品 飲料水 体温計・マスク 医療品（常備薬）
携帯電話・充電器 貴重品（現金・通帳・印鑑など） 衣類 など

災害への備えに
ご協力ください

もし災害に遭ったら... あなたがとるべき避難行動は？



避難行動判定フロー

1 ハザードマップで自分の家がどこにあるのか確認し、印をつけてみましょう。
※町ホームページでご覧になれます。

はい

2 家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、町からの避難情報を参考とし、必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、**原則として自宅の外へ避難する必要があります。**

3 ご自身や一緒に避難する方は、避難までに時間がかかりますか？

いいえ

はい

4 安全な場所に住んでいて、身を寄せることができる親戚や友人はいますか？

はい

警戒レベル③が発令されたら、**親戚や知人宅に避難**しましょう。

災害に遭った場合を想定し、日頃から相談しておくと、スムーズな対応につながります。

いいえ

警戒レベル③が発令されたら、町が指定する**指定避難場所**に避難しましょう。

事前に指定避難場所の位置を確認することで、落ち着いた行動をとることができます。

例外

次の3つが確認できれば、**浸水の危険があっても、自宅にとどまり安全を確保することも可能です。**

- ①洪水により家屋が倒壊または崩落してしまう恐れがある区域ではないこと
- ②浸水が想定される深さよりも、高い場所であること
- ③水・食料など十分な備えがあり、水が引くまで生活ができること

4 安全な場所に住んでいて、身を寄せることができる親戚や友人はいますか？

はい

警戒レベル④が発令されたら、**親戚や知人宅に避難**しましょう。

災害に遭った場合を想定し、日頃から相談しておくと、スムーズな対応につながります。

いいえ

警戒レベル④が発令されたら、町が指定する**指定避難場所**に避難しましょう。

事前に指定避難場所の位置を確認することで、落ち着いた行動をとることができます。